

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~3日	10月 ~10日	10月 ~17日	10月 ~24日	10月 ~31日	11月 ~7日	11月 ~14日	11月 ~21日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	122	85	45	12	7	14	16	14	11	21 (22)	20
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	63	45	42	31	20	18	16	17	19	11 (12)	6
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	2	0	1	1	0	1	0	0	0	1
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	10	23	9	3	2	6	7	7	2	1 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	17	15	20	6	8	3	4	5	4	4 (5)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	14	19	10	4	5	4	2	3	0	3	1
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	4	5	0	1	2	0	0	0	1 (2)	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 先週のその他の1件増はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第46週(11月15~11月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		2		1	2	1	1
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4					1		3
四類	4	つつが虫病	4	1	1			2		
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1		1					
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		百日咳	1		1					
		梅毒	5					4		1
新型インフルエンザ 等感染症	11	新型コロナウイルス感染症	11	0	2	0	5	1	0	3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第46週に1件の報告がありました。全国でも新規感染者の減少が続き、昨年の夏以降で最も低い水準となっています。一方、ワクチン接種が先行する諸外国において、ブレークスルー感染や大幅な規制緩和の中でのリバウンドが発生しています。現在の低い水準を維持するため、ワクチン接種者も含めて、マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気などの基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

2 手足口病

定点当たり2.21人と、前週と比べて増加しました。手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルやハンカチの共用は避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 つつが虫病

2件の報告があり、今年の累計は4件となりました。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボン、帽子、手袋などを着用し、肌の露出を少なくしてダニ類の付着を防ぎましょう。

12月1日は世界エイズデーです。
 この機会に検査を受けてみませんか？

広島市では、各区保健センターで、「エイズに関する相談と無料・匿名検査」を実施しています。

詳しくはこちらをご覧ください！

・広島市ホームページ「エイズに関する相談と無料・匿名検査」
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

【参考】エイズ予防情報ネット「世界エイズデー(12月1日)」
<https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/special2021.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間 平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間 平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
												↑	↓	
小児科	インフルエンザ	1	0.03	0.99		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.20		急増減	↑	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.33			RSウイルス感染症	2	0.08	0.38		増減	↔	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	2.12			急性出血性結膜炎	-	-	-		横ばい	→	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	78	3.25	8.54	↔	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.33				
	水痘	1	0.04	0.46			細菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	手足口病	53	2.21	0.79	↑	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	伝染性紅斑	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29				
	突発性発しん	6	0.25	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	15	0.63	0.21	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	88	60歳代、70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	18	20歳代・O157
4	つつが虫病	2	4	70歳代・2人
5	後天性免疫不全症候群	1	6	20歳代・感染者
5	梅毒	4	93	20歳代・1人、50歳代・3人
5	播種性クリプトコックス症	1	1	70歳代

■新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(38.2℃) 口内炎	3	2021/09/08	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA4型
流行性角結膜炎	結膜炎 眼脂 周擁充血 眼瞼浮腫	38	2021/09/09	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の消化器疾患	発熱(41.0℃) 下痢 熱性痙攣	1	2021/08/30	糞便	アストロウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載